**大学等における修学の支援に関する法律第７条第２項の確認に係る申請書**

**日南看護専門学校**

様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 日南看護専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人　日南学園 |

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 課程名 | 学科名 | 夜間･通信制の場合 | 実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数 | 省令で定める基準単位数又は授業時数 | 配置困難 |
| 看護専門課程 | 看護学科 | 夜・通信 | ９単位 | ９単位 |  |
|  | 夜・通信 |  |  |  |
|  |  | 夜・通信 |  |  |  |
|  | 夜・通信 |  |  |  |
| （備考） |

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

|  |
| --- |
| 資格者と担当科目の一覧は事務室に備え付けており、希望があればいつでも閲覧可能である。 |

３．要件を満たすことが困難である学科

|  |
| --- |
| 学科名 |
| （困難である理由） |

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

* 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 日南看護専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人　日南学園 |

１．理事（役員）名簿の公表方法

|  |
| --- |
| 法人本部において閲覧可能 |

２．学外者である理事の一覧表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 常勤・非常勤の別 | 前職又は現職 | 任期 | 担当する職務内容や期待する役割 |
| 常勤 | 学校法人　日南学園理事長 | H29.5.31～R3.5.30 | 法人を代表しその業務の総理 |
| 常勤 | 日南学園高等学校校長 | H17.5.30～ | 教育内容全般について運営責任担当 |
| 非常勤 | 元宮崎日日新聞社取締役 | H29.5.31～R3.5.30 | 学校と地域との連携担当 |
| 非常勤 | 元日南市収入役 | H29.5.31～R3.5.30 | 経理担当 |
| 非常勤 | 元日南市教育長 | H29.5.31～R3.5.30 | 教育行政担当 |
| （備考） |

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名（学部等名） | 日南看護専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人　日南学園 |

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

|  |
| --- |
| １．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 |
| （授業計画の作成・公表に係る取組の概要）＜作成について＞・３年間の修業期間において、どの科目をどのような順序で学習していくのかの学科進度表を土台とし、年度末に科目担当教員がシラバス（授業科目の開講時期、単位数、学習目標、授業内容、成績評価方法、担当教員名）を共通フォーマットで作成し、全科目分作成している。＜公表について＞・学生に対しては、入学時に個々に配布している。（３年間使用する）・一般に対しては、学校の事務カウンターに３学年分のシラバスを常備し、希望者には自由に閲覧できるようにしている。 |
| 授業計画の公表方法 | シラバスは学内で自由に閲覧可能であることを、ホームページで説明している。 |
| ２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 |
| （授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）　＜評価の取り組みについて＞・単位認定試験については、規定時間の３分の２以上の出席時間の確認により受験資格を与えている。単位認定試験実施で６０点以上が合格となり単位認定される。６０点に満たない場合は１回のみ再試験を実施し、再試験で６０点以上であれば単位認定とする。　出席時間数が不足していた場合は、同科目を次年度再履修としている。　やむを得ない事情で単位認定試験が受けられなかった場合には、追試験を実施する。・演習ではルーブリック評価表を用いて教員・学生が到達度を共有して学習に取り組み、その反応を評価している。・実習については、規定時間の３分の２以上の出席時間および、ルーブリック評価表に基づき６割以上の点数の確認により合格とし単位認定している。　点数が６割に満たない場合は１回のみ再実習を実施し、再実習で６割以上であれば単位認定とする。　再実習は、不足している内容に応じて、臨地再実習もしくは学内再実習のどちらかを実施する。　やむを得ない事情での出席時間数不足の場合においては、補習実習を実施する。＜進級について＞単位制であるが、進級に関しては以下の条件を定めている。・１年次の専門基礎分野の単位を１４単位中１１単位以上修得しなければ、基礎看護学実習Ⅱには進めない。・１年次の専門分野Ⅰ（基礎看護学）の講義単位数を３分の２以上修得（基礎看護技術Ⅴは必ず修得）しなければ、基礎看護学実習Ⅱには進めない。・専門分野Ⅱおよび在宅看護論の各科目の講義単位数を３分の２以上修得しなければ、その科目に該当する領域実習に進むことはできない。（統合実習は除外）・基礎看護学の実習単位を修得しなければ、それ以降の領域別実習には進めない。・原則として、３年次の臨地実習終了時点で、２科目までの臨地実習（再実習・補習実習）が残っている場合は当該年度内での臨地実習を行うが、３科目以上の臨地実習が残っている場合は、次年度再履修となる。・３年次に次年度の再履修が決まっている場合は、当該年度の統合実習に進むことはできない。 |

|  |
| --- |
| ３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 |
| （客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）　成績評価については、単位認定試験・課題レポート・技術試験を実施し、課題レポート・技術試験については評価基準を事前提示してから実施している。　試験結果は、その都度個人にも返却している。　夏季休業前、冬季休業前、春季休業前の３回／年　、それぞれの期間における学年別の成績順位と成績分布を出している。 |
| 客観的な指標の算出方法の公表方法 | 夏季休業前、冬季休業前、春季休業前の３回／年　、それぞれの期間における学年別の成績順位を出し、分布図とともに個別に郵送している。また、成績分布状況については事務に備え付けており、希望があればいつでも閲覧可能である。 |
| ４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 |
| （卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）　卒業認定について学則に定め、出席日数、単位認定についての各学年の１年に３回成績表を送付し、卒業判定会議において認定する。 |
| 卒業の認定に関する方針の公表方法 | 学生便覧に記載している。 |

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 | 日南看護専門学校 |
| 設置者名 | 学校法人　日南看護専門学校 |

１．財務諸表等

|  |  |
| --- | --- |
| 財務諸表等 | 公表方法 |
| 貸借対照表 | 法人本部において閲覧可能 |
| 収支計算書又は損益計算書 | 法人本部において閲覧可能 |
| 財産目録 | 法人本部において閲覧可能 |
| 事業報告書 | 法人本部において閲覧可能 |
| 監事による監査報告（書） | 法人本部において閲覧可能 |

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 分野 | 課程名 | 学科名 | 専門士 | 高度専門士 |
| 医療分野 | 看護専門課程 | 看護学科 | 〇 |  |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数 | 開設している授業の種類 |
| 講義 | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| ３年 | 昼 | ９７単位 | ７４単位 | 単位 | ２３単位 | 単位 | 単位 |
| ９７単位 |
| 生徒総定員数 | 生徒実員 | うち留学生数 | 専任教員数 | 兼任教員数 | 総教員数 |
| １２０人 | １０５人 | ０人 | １０人 | ８８人 | ９８人 |

|  |
| --- |
| カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） |
| （概要）授業科目の開講日時、学習目標、進度、評価方法についてシラバスを作成し学生個人に配布している。 |
| 成績評価の基準・方法 |
| （概要）　成績評価については、単位認定試験・課題レポート・技術試験を実施し、課題レポート・技術試験については評価基準を事前提示してから実施している。　試験結果は、公表しその都度個人にも返却している。 |
| 卒業・進級の認定基準 |
| （概要）　卒業認定について学則に定め、出席日数、単位認定についての各学年の１年に３回成績表を送付し、運営会議において認定する。 |
| 学修支援等 |
| （概要）　成績不良者に対しては、個別指導や放課後に学習会を実施している。また、適宜保護者に状況を連絡し、必要に応じて三者面談を実施している。 |

|  |
| --- |
| 卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載） |
|  |  |
| 卒業者数 | 進学者数 | 就職者数（自営業を含む。） | その他 |
|  | ３１人（100％） | １人（3.2％） | ３０人（96.8％） | ０人（0％） |
| （主な就職、業界等）　看護師 |
| （就職指導内容）　面談を行い、就職希望先のパンフレット・就職案内を元に内容を検討 |
| （主な学修成果（資格・検定等））　看護師国家資格 |
| （備考）（任意記載事項） |

|  |
| --- |
| 中途退学の現状 |
| 年度当初在学者数 | 年度の途中における退学者の数 | 中退率 |
| 　　３４人 | ４人　 | １１．８％ |
| （中途退学の主な理由）　進路変更 |
| （中退防止・中退者支援のための取組）　カウンセリング、三者面談を実施 |

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学科名 | 入学金 | 授業料（年間） | その他 | 備考（任意記載事項） |
| 　　看護 | 200,000円 | 480,000円 | 424,000円 |  |
| 　　 | 円 | 円 | 円 |  |
| 　　 | 円 | 円 | 円 |  |
| 　　 | 円 | 円 | 円 |  |
| 修学支援（任意記載事項） |
|  |

ｂ）学校評価

|  |
| --- |
| 自己評価結果の公表方法 |
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） |
| 学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） |
| 　1年に2回学校評価委員会を開き、学校側より学生の状況、国家試験対策、行事予定等を説明し、委員の方々より意見・要望をいただき学生たちの学校生活にいかしていく。 |
| 学校関係者評価の委員 |
| 所属 | 任期 | 種別 |
| 学校法人　日南学園理事長 | H29.5.31～R3.5.30 |  |
| 日南学園高等学校校長 | H17.5.30～ |  |
| 元宮崎日日新聞社取締役 | H29.5.31～R3.5.30 |  |
| 非常勤 元日南市収入役 | H29.5.31～R3.5.30 |  |
| 元日南市教育長 | H29.5.31～R3.5.30 |  |
| 学校関係者評価結果の公表方法 |
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）日南看護専門学校にて閲覧可能 |
| 第三者による学校評価（任意記載事項） |
|  |

ｃ）当該学校に係る情報

|  |
| --- |
| （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）https://www.nichigaku.info/nursing/ |